



砥粒加工学会 学会活性化フォーラム
in ABTEC2018



「歴史と伝統の地 金沢で考えるものづくりの未来」

企画: 砥粒加工学会 若手の会「次世代ものづくり技術研究会(通称:山椒魚)」

砥粒加工学会 ABTEC2018 実行委員会

＜開催趣旨＞ 砥粒加工学会では、若手研究・技術者と学生が参加しやすい活発な学会にするとともに、学会を将来にわたって継続的に発展させるために、学会活性化フォーラムが設置されています。ABTEC2018 では、若手の会(山椒魚)と ABTEC 実行委員会の共同企画として、森脇俊道先生を講師にお招きして、これからの日本のものづくりの展望を占う講演を頂きます。日本のものづくりの情勢がさまざまな変革を迎えている中、若手エンジニア・研究者は、あるいは砥粒加工学会としては、どんなことに留意していけばよいのでしょうか。ものづくりに関する地域連携や人材教育などに大変造詣の深い森脇先生に、この問題に対するヒントをお聞きしてみたいと思います。講演の部に引き続きは、交流会を開催致します。積極的に活躍する若手研究・技術者と学生のご参加を募ります。

日 時：平成 30 年 8 月 29 日(水) 17:00～20:00 (砥粒加工学会 ABTEC2018 第 1 日目)

会 場：金沢大学 角間キャンパス 自然科学大講義棟 1 階 レクチャーホール

〒920-1192 石川県金沢市角間町

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>

内 容：

17:00～18:10 講演

「これからのものづくりについて考える」

神戸大学名誉教授, 摂南大学名誉教授, (公財)神戸市産業振興財団理事長

森脇 俊道 先生

＜講演内容＞ 少子高齢化が加速し、我が国の技術流出や企業の海外展開に伴う国内ものづくりの空洞化が進む中で、我が国におけるこれからのものづくりはどうなるのだろうか？またどうすべきであろうか？悩みながら、また明確な解を持ちえないものの、地域のものづくり企業とともに歩んできた経験をもとに、主として現在の神戸における試みについてご紹介し、皆様方のお考えをお伺いしたい。

18:20～20:00 交流会 (会場:金沢大学 南福利食堂フレポ)

○交流会の参加費:1000 円(学生の方, 非会員の方も含め, 一律の価格です。飲み物(アルコール含む), 軽食を準備しています。)

○交流会の参加資格:実年齢が 40 歳以下, ならびに気持ち年齢が 40 歳以下(自称)の若手研究・技術者は大歓迎。ただし, 実年齢が 40 歳以上の参加希望者は, 40 歳以下の若手を積極的に引率してご参加願います。学生の参加も大歓迎です。

○参加申込方法:準備の都合がありますので, 学会活性化フォーラムの交流会にご参加を希望する方は, 学会ホームページ(<http://www.scoop-japan.com/kaigi/abtec/>)から事前登録して下さい。